

2022年（令和4年）活動報告

I. セミナー・シンポジウム等

CPAS Seminar, Globalizing American Studies

“Privileging Dominant Religion at the Expense of Religious Minorities and Dissenters: The U.S. Supreme Court’s Narrowing of Separation of Church and State and Expansion of Free Exercise and Church Autonomy”

講演：Frank S. Ravitch (Michigan State University College of Law)

司会：平松彩子 (東京大学)

コメンテーター：伊達聖伸 (東京大学)

日時：2022年4月28日(木) 17:30～19:30

場所：Zoom ミーティング

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

共催：東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS)

後援：アメリカ研究振興会、科研費基盤 (A)「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成—学際的比較研究」

CPAS Seminar, Globalizing American Studies

“Working-Class Environmentalism: Rethinking the History between Unions and Environmentalists in the United States”

講演：Erik Loomis (University of Rhode Island)

司会：橋川健竜 (東京大学)

日時：2022年6月8日(水) 18:00～20:00

場所：Zoom ミーティング

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

共催：東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS)、アメリカ学会

後援：アメリカ研究振興会

CPAS Seminar, Globalizing American Studies

“Story and History: Bulosan, Mori and Rural California Around 1940”

講演：David S. Goldstein (University of Washington Bothell)

司会：中野耕太郎 (東京大学)

コメンテーター：井上博之 (東京大学)

日時：2022年7月7日(木) 17:30～19:30

場所：Zoom ミーティング

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

共催：東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS)

後援：アメリカ研究振興会

CPAS Seminar, Globalizing American Studies

“Teaching and Writing U.S. History in French and Western European Academia: American History and Civilization in a Comparative Perspective”

講演：Bertrand van Ruymbeke (Université Paris VIII)

司会：橋川健竜 (東京大学)

日時：2022年12月2日(金) 17:00~19:00

場所：Zoom ミーティング

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

共催：東京大学グローバル地域研究機構 (IAGS)

後援：アメリカ研究振興会

ANU/UTokyo Strategic Partnership Conference

“A Pacific intellectual history: modern imperialism, indigeneity and ecological justice”

報告1：Katerina Teaiwa (ANU), “Frames and counter-frames: seeing the Pacific with many eyes”

コメント：Yasuko Hassell Kobayashi (Ritsumeikan U/ANU)

報告2：George Carter (ANU), “Oceania worldviews in the global: from reimagining to transforming ideas”

報告3：Tomohito Baji (The University of Tokyo), “Epeli Hau’ofa: Pacific indigeneity, historiography and environmental conservation”

日時：2023年1月17日(火) 13:00~18:00

場所：東京大学駒場キャンパス18号館コラボレーションルーム4 (ハイブリッド開催)

主催：東京大学グローバル・スタディーズ・イニシアティブ、アメリカ太平洋地域研究センター (CPAS)

共催：グローバル地域研究機構 (IAGS)

CPAS Symposium 「東アジアの冷戦研究の課題—文化・生活・ローカル」

総合司会：川島真 (東京大学)

開会挨拶：橋川健竜 (東京大学)

第一セッション：文化・生活の中の冷戦

司会：中野耕太郎 (東京大学)

報告者：森口(土屋)由香 (京都大学)「東アジアの文化冷戦と〈知〉の構築」

益田肇 (シンガポール大学)「日常生活から考える『冷戦』」

第二セッション：小さい歴史と大きな歴史

司会：平松彩子 (東京大学)

報告者：倉田徹 (立教大学)「小さな冷戦と一国二制度—香港から見た冷戦」

成田千尋 (立命館大学)「東アジアから見た沖縄返還」

総合討論

司会 兼 ディスカッション：川島真 (東京大学)

コメンテーター：市川紘子 (東京大学)

小林聡明 (日本大学)

日時：2022年11月12日（土） 13:00～17:00

場所：Zoom ミーティング

主催：東京大学アメリカ太平洋地域研究センター（CPAS）

共催：東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構（IAGS）

後援：アメリカ研究振興会

II. 研究プロジェクト

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）

「中国の世界秩序観の歴史の変遷と現在」(代表：川島真)

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）

「現代アメリカにおける国家・市民関係の史的転換—1960～70年代の変容を中心に」
(代表：中野耕太郎)

日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究

「旧権威主義地方の全国民主制への統合—アメリカ合衆国深南部州における政党制度の変容」(代表：平松彩子)

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）

「トランプ政権期の米中関係におけるメディアの役割」(代表：市川絃子)

III. 出版活動・資料公開

『アメリカ太平洋研究』第22号（2022年3月）

IV. センター所属教員の2022年1月から12月までの研究活動

川島真

[書籍]

- ・池内恵・宇山智彦・小泉悠・川島真・鈴木一人・鶴岡路人・森聡『ウクライナ戦争と世界のゆくえ—戦争の衝撃』（東京大学出版会、2022年）
- ・園田茂人・丸川知雄・高見澤磨・川島真・黄偉修・川上桃子『“Intellectual Giants” in UTokyo: A History of China/Taiwan Studies』（ブックレット GJS 第4号、東京大学東洋文化研究所 Global Japan Studies、2022年）
- ・川島真編著『ようこそ中華世界へ』（シリーズ地域研究のすすめ3、昭和堂、2022年）
- ・川島真・岩谷將編著『日中戦争研究の現在—歴史と歴史認識問題』（東京大学出版会、2022年）
- ・川島真・細谷雄一編著『サンフランシスコ講和と東アジア』（東京大学出版会、2022年）
- ・森口[土屋]由香・川島真・小林聡明編著『文化冷戦と知の展開—アメリカの戦略・東アジアの論理』（京都大学学術出版会、2022年）
- ・川島真・小嶋華津子編著『UP plus 習近平の中国』（東京大学出版会、2022年）
- ・川島真・経団連21世紀政策研究所編著『習近平政権の国内統治と世界戦略—コロナ禍

で立ち現れた中国を見る』(勁草書房、2022年)

- ・林果顕・若林正丈・川島真・洪郁如・黃英哲『台湾与東亜近代史 研究論集第6輯』(国立政治大学台湾史研究所、巨流図書、2022年)

[学術論文]

- ・「清末の留学生“監督”行政」徐志民・孫安石・大里浩秋等『団体与日常—近代中国留日学生的生活史』社会科学文献出版社、2022年所収、143–157頁。
- ・「習近平政權の歴史政策—馬工程と四史」日本国際問題研究所編『歴史系検討会論文集』日本国際問題研究所、2022年3月所収、1–8頁。
- ・“War in Ukraine from China’s Perspective: Limited Options for State that Cannot Reject Existing Policies”, *Asia Pacific Review*, Volume 29, Issue 2, 2022, 35–55.
- ・「戦後初期中国における対日講和観—1945～1947年を中心に」川島真・細谷雄一編著『サンフランシスコ講和と東アジア』東京大学出版会、2022年所収、179–215頁。
- ・「『戦争遺留問題』と対日新思考—江沢民・胡錦濤政權期の対日歴史政策」川島真・岩谷將編著『日中戦争研究の現在—歴史と歴史認識問題』東京大学出版会、2022年所収、39–58頁。
- ・「蔡英文政權の新型コロナウイルス感染症への初期的対応と兩岸関係」川島真・経団連21世紀政策研究所編著『習近平政權の国内統治と世界戦略—コロナ禍で立ち現れた中国を見る』勁草書房、2022年所収、165–184頁。
- ・「冷戦下台湾の中国研究とアメリカフォード財団による中央研究院近代史研究所支援」森口[土屋]由香・川島真・小林聡明編著『文化冷戦と知の展開—アメリカの戦略・東アジアの論理』京都大学学術出版会、2022年所収、25–49頁。
- ・「中国のウクライナ戦争をめぐる動向と日中関係」『問題と研究』第51巻3号、2022年9月、31–62頁。
- ・「グローバルサウスに働きかける中国—中国の描く世界と米中「対立」像」『Security Studies 安全保障研究』第4巻3号、2022年9月、97–110頁。
- ・(既発表論文の翻訳)「尖閣諸島問題的論述空間—中國的歴史認識／從漁民追尋鳥蛋之海到國家之間對立之海—東海の島嶼 (The Contending Discourses of the Senkaku/Diaoyu Conundrum: The Chinese Interpretation of History／From Fishers’ Backyard to Countries’ Sovereignty Contest: The Islands in the East China Sea)」(『當代日本與東亞研究』第5巻第5・6号、2021年10月、http://jeast.ioc.u-tokyo.ac.jp/numbers/20211001-01.html?fbclid=IwAR3ru2oUTgUc516nhxwysJ7R6QAXM7ZAamGk_aOjZuFsWeWpPPOxqT2qJzM)
- ・(既発表論文の翻訳) “China as “Empire”: Perceptions of the Tributary System and the Boundaries of China in the Twentieth Century”, *The Japan Institute of International Affairs/Resource Library*, 2022, 9., 1–13.

[国内学会司会、ディスカッサント、講演・報告]

- ・日本現代中国学会関東部会 2021年度第1回定例研究会「特別公開された外交記録から見る天安門事件と日中関係」（報告「日本外交記録にみる天安門事件と日中関係」、2021年3月21日）。
- ・アジア政経学会春季団体「自由論題1 中国の政治と政策決定」（司会兼ディスカッサント、6月19日）。
- ・第27回アジア政経学会研究会（ディスカッサント、2021年9月18日）。
- ・国際政治学会「E-1 日本外交史・東アジア国際関係史合同分科会」（ディスカッサント、10月31日）。
- ・アジア政経学会秋季大会「自由論題2」（司会兼ディスカッサント、11月20日）。

[国内外新聞記名記事など]

- ・「中国、有事・制裁の影響観察」『日本経済新聞』経済教室、2022年4月1日
- ・「自らハードル上げて怒る中国 制裁の矛先は台湾に」『朝日新聞』、2022年8月4日
- ・「50年50人 | 川島真：期待中日若手学者従多語言、多角度看待問題」『澎湃新聞』、2022年9月26日
- ・“It is 50 years since Japan and Taiwan broke off diplomatic relations”, *The Diplomat*, October 12, 2022.

このほか内外の新聞において記名記事、インタビュー記事が多数掲載。

[国際／国内会議司会、講演・報告]

国際学会では以下の会議で報告を行った。

- ・「2022 台湾文化的形塑與構成国際学術研討会」（国立成功大学、2022年8月25日）
- ・「日中邦交正常化50周年」（社会科学院日本研究所、2022年9月12日）
- ・「面向未来—纪念中日邦交正常化50周年国际学术研讨会」（中国社会科学论坛、2022年8月27日）
- ・Japan-China Relations After 50 Years (1972–2022): Past, Present, & Future…?, A Special Indiana University/University of Tokyo Joint Webinar, September 28, 2022.
- ・金門学国際学術研討会「解嚴三十——戦地与後戦地的金門研究」（2022年10月28日）
- ・「中日戦争史反思的新格局」（中央研究院近代史研究所、2022年12月7–8日）
- ・ポーランドのワルシャワ大学からの招聘で、ワルシャワ大学、ポズナン大学などで招待講演（2022年11月）、また台湾の中央研究院近代史研究所、Institute of Chinese Studies, Indiaにてオンラインで講演を行った。

このほか、国内での講演や国内の学会での共通論題司会、日本学術会議シンポジウムでの司会、報告などを行った。

[書評]

(合評)「ひもとく 中国共産党の行方 豊かな経済、維持が重要な鍵」『朝日新聞』2022年10月15日

(書籍紹介)「山中永之祐『帝国日本の統治法』」『中国研究月報』76巻9号、2022年9月、45-46頁

(第34回アジア太平洋賞講評)「山口信治『毛沢東の強国化戦略1949-1976』」『毎日新聞』2022年10月4日

(書評)「ラナ・ミッター著、関智英監訳・濱野大道訳『中国の「よい戦争」』」『日本経済新聞』2022年9月24日

(書評)「天児慧著『中国のロジックと欧米思考』」『公明新聞』2022年8月1日

[社会活動]

- ・日本学術会議連携会員
- ・中曽根世界平和研究所研究本部長
- ・日本国際フォーラム上席研究員
- ・内閣府公文書管理委員会委員
- ・日本外務省外交記録公開推進委員会委員
- ・日本 ASEAN 友好協力 50 周年有識者会合委員 など多数。

その他、講演、講座、会議主催・報告・討論、論壇誌掲載、新聞等への掲載、テレビ出演等、多数省略。

中野耕太郎

[学術論文]

- ・「カラーラインの形成と「新移民」—20世紀前半のアメリカ人種社会」特集 アメリカの構造的差別を問う—歴史とその実態 (1)、『大原社会問題研究所雑誌』No. 761、2022年3月、4-20頁

[学会活動等]

- ・対談(招待)「藤原辰史・中野耕太郎 特別対談：危機の時代の視点—アメリカ史に学ぶ」朝日カルチャーセンター、オンライン、2022年1月21日
- ・講演(招待)「19世紀末の危機と「アメリカの世紀」の胎動—「社会的なもの」をめぐる闘争から例外主義の再編へ」、第30回地域文化研究専攻主催 公開シンポジウム：「「危機」の時代を生きる」、オンライン、2022年6月25日
- ・司会：「CPAS 公開シンポジウム 東アジアの冷戦研究の課題—文化・生活・ローカル」、第1セッション、オンライン、2022年11月12日
- ・講演(招待)「ポスト・トゥルース時代の歴史認識—米国「歴史戦争」から1619年プロジェクト論争へ」歴史科学協議会第56回大会、中京大学、2022年12月3日
- ・『西洋史学』（日本西洋史学会）編集主任幹事（～2022年3月）、運営評議員

- ・『パブリックヒストリー』編集委員
- ・『アメリカ史評論』（関西アメリカ史研究会）編集委員
- ・『20世紀研究』編集委員
- ・アメリカ学会 理事
- ・史学研究会 評議員、他

[その他の執筆]

- ・「特集にあたって（特集 高木八尺 その学問と社会活動—CPAS 高木八尺デジタルアーカイブ公開に寄せて）」『アメリカ太平洋研究』Vol. 22, 2022年3月、5–6頁。
- ・「人はなぜ戦争をするの？—第2次世界大戦をひもとく（インタビュー記事：小貫友里記者）」『朝日小学生新聞』2022年7月9日付、第3面
- ・「ポスト・トゥルース時代の歴史認識—米国「歴史戦争」から1619プロジェクト論争へ（大会報告梗概）」『歴史評論』Vo. 871, 2022年11月、56–58頁。

橋川健竜

[その他の執筆]

- ・（コメント）「高木の著作との関連において」『アメリカ太平洋研究』Vol. 22, 2022年3月、47–51頁。
- ・“Editor’s Introduction.” *The Japanese Journal of American Studies* 33 (2022): 1–3.

[学会活動]

- ・アメリカ学会 常務理事、*The Japanese Journal of American Studies* 編集委員長（ともに6月まで）、同理事、*The Japanese Journal of American Studies* 編集委員（6月～12月）
- ・初期アメリカ学会 理事

平松彩子

[その他の執筆]

- ・「アメリカの公共図書館と市民」『教養学部報』（東京大学教養学部）633号、2022年1月5日、5頁。
- ・「アンケート 東大教師が新生にすすめる本」『UP』（東京大学出版会）51巻4号、2022年4月、17–18頁。
- ・（新刊紹介）「西山隆行著『〈犯罪大国アメリカ〉のいま—分断する社会と銃・薬物・移民』」『アメリカ学会会報』208号、2022年4月、14頁。

[学会活動]

- ・日本比較政治学会 理事、年報編集委員

市川紘子

[学術論文]

- ・“US Radio Diplomacy and Human Rights Issues in Asia,” 12th International Conference

on Cultural Policy Research, <https://www.uantwerpen.be/en/conferences/cultural-policy-research/online-platform/> (国際会議プロシーディング)

[学会活動等]

- ・“US Radio Diplomacy and Human Rights Issues in Asia,” 12th International Conference on Cultural Policy Research, University of Antwerp, Belgium, September 22, 2022.
- ・コメント、CPAS シンポジウム「東アジアの冷戦研究の課題—文化・生活・ローカル」
2022年11月12日(土)

天野由莉

特になし